

## CMS機能要件一覧

要求区分:『必須』…本業務で必要となる要件、『推奨』…可能な限り実現を希望する要件  
 対応欄:『○』…標準機能で対応可能で追加費用不要、『△』…カスタマイズまたは代替案で対応可能、『×』…対応できない  
 ※1つの項目内の要件で、一部のみ実現不可能な部分がある場合は「×」を記入し、備考欄に詳細を記入すること。  
 ※本業務の委託費用内で、各項目に対して提案などがある場合は備考欄に記入すること。  
 ※備考欄に記入しきれない場合は、別紙(様式任意)によって代えること。  
 ※要求区分が『必須』に対して『×』の場合は、参加資格を有しないものとする。

	カテゴリ	要件	要求区分	対応	備考
1	システム全般	静的HTMLにより構成される仕組みであること。すなわち、CMSサーバで生成されたhtmlファイルを定時もしくは任意のタイミングでWebサーバにアップロードする仕組みであること。なお、イベントカレンダーなど動的に表示させることが望ましいものに限り可とする。	必須		
2	システム全般	公式サイトにアクセスが集中し、閲覧しづらい状況となっても、CMSへのログイン・更新及び公式サイトの上アップロードには影響がないこと。	必須		
3	システム全般	CMSを利用する社内LANに接続された端末に特別なソフトなどをインストールすることなく、複数のWebブラウザ(Google Chrome、Microsoft Edge、Safari、Mozilla Firefoxなど)でページの更新・管理を行えるCMSであること。各ブラウザメーカーにて動作保障中のバージョンは対応すること。また、最新バージョンが公開された場合は、速やかに対応すること。	必須		
4	システム全般	公開されるサイト全体が標準化・統一化されたデザインルールにより構築されること	必須		
5	システム全般	CMSを使用する端末台数やCMSのユーザーID数、作成するページ数やテンプレート数、コンテンツ数の変動により追加料金が発生しないこと。	必須		
6	システム全般	UTF-8の文字コードに対応すること。	必須		
7	システム全般	閲覧者の利用端末(パソコン・スマートフォン・タブレット等)で最適に表示されるように設定された単一のファイルを作成できること。	必須		
8	システム全般	全ページを常時SSL化すること。	必須		
9	ユーザー設定	各所属にユーザーID、パスワードを付与し、CMSにログインできること。(導入時は組織(承認者:課長・作成者:グループ等)で割り当てる。)	必須		
10	ユーザー設定	ログインするユーザーIDに付与された権限に応じた画面が表示され、担当部署以外のページを操作できないこと。	必須		
11	ユーザー設定	権限の割り振りにより、ページ作成や編集だけできるユーザー、ページ作成や編集と承認ができる承認者のユーザーの指定ができること。	必須		
12	管理者権限	管理者ユーザーに、ログイン中のユーザーが一覧でわかること。	推奨		
13	管理者権限	任意のページに対して行われた作業履歴を、一覧で確認できること。	推奨		
14	管理者権限	ページ担当部署の変更を、一括で行うことが可能なこと。	推奨		
15	管理者権限	上記は任意の日付を指定して予約できること。 例:4月1日に自動的にページ所有者が変更される	推奨		
16	管理者権限	管理者は、ユーザーID・パスワードの付与、各アカウントへのページの割り振り、アカウントごとの権限設定ができること。	必須		
17	管理者権限	管理者は、簡単な操作でユーザー情報の修正、追加、削除ができること。	必須		
18	管理者権限	管理者は、組織情報(部署名、施設名、問い合わせ先情報など)の編集が容易にできること。	必須		
19	管理者権限	管理者は、全ページを一覧表で容易に確認でき、各ページの状況(作成中・承認待ち・公開中など)を把握できること。	推奨		
20	管理者権限	管理者は、全ページの公開、非公開、削除などの操作が容易にできること。	必須		
21	管理者権限	管理者は、全ページの即時公開、即時削除ができること。	必須		
22	管理者権限	管理者のみ公式サイト全体の構成やページのヘッダー・フッターなど、共通部分について編集できること。	推奨		
23	管理者権限	管理者は、新着情報やピクスの新着(自動表示)の表示順を任意に変更できること。	推奨		
24	管理者権限	管理者は、掲載する画像サイズやファイル容量が制限できること。	推奨		
25	公開画面	更新日がページ上部に自動表示されること。	必須		
26	公開画面	存在しないページにアクセスした際、案内ページが表示できること。	必須		
27	公開画面	関連情報などとして、所定の位置にリンクが容易に表示できること。	必須		
28	公開画面	ページのフッターに、作成したユーザーIDに登録されている担当部署・電話番号・メールアドレスなどの連絡先を自動的に表示すること。また、これらの情報が変更された場合は、各ページに自動的に反映されること。	必須		
29	公開画面	上記は任意の日付を指定して予約できること。 例:10月1日に自動的に新しい問い合わせ先に変更	推奨		
30	公開画面	上記連絡先は、ページ単位で書き換えができること。 (特殊なケースの場合に例外対応ができる)	推奨		
31	公開画面	閲覧者がサイト全体の構成を容易に理解できるようにサイトマップを自動生成すること。	必須		
32	公開画面	ページ公開時に、サイトマップ、グローバルナビゲーション、ローカルナビゲーション(階層リスト)、パンくずリストに、ページタイトルをリンク名としたリンクを自動生成し、公開終了時には、それらを自動的に削除すること。	必須		
33	公開画面	サイトの利用ガイド、著作権、プライバシーポリシー、免責事項等の情報を掲載し、容易に修正できること。	推奨		
34	災害時対応	災害用トップページ(緊急性の高いページのみを低負荷で閲覧できる構成のもの)に管理者が簡易な操作で即座に切り替えられること。	必須		
35	災害時対応	災害用カテゴリについて、承認者不要のページが作成できること(広報担当が不在の場合に、防災関連部署が緊急情報ページ作成時に利用することを想定。)	必須		
36	カテゴリ分類	カテゴリ分類は、(例:引越・結婚・介護など)想定される閲覧者にとっての使いやすさを優先し、タイトルを見ただけでカテゴリ内のページの内容が想像できるようにすること。	必須		
37	カテゴリ分類	カテゴリ分類ごとにカテゴリトップページを作成すること。	必須		
38	カテゴリ分類	カテゴリトップページとは別に、課室ごとに所属トップページを作成すること。	必須		
39	カテゴリ分類	所属トップページには、独自の見出しを各所属の担当者にて自由に設定できること。	必須		
40	カテゴリ分類	所属トップページには、事業PR用のバナー及びリンクの設定ができること。	必須		
41	カテゴリ分類	所属トップページには、Googleマップを表示できること。	必須		
42	カテゴリ分類	ページ作成時に、掲載するカテゴリ分類を容易に選択できること。なお、1つの記事ページについて複数のカテゴリ分類を登録できること。	必須		
43	カテゴリ分類	記事ページごとに付与するカテゴリ分類は異なる視点に基づいた分類属性を付与できること。たとえば、目的別視点と対象別視点など異なる視点の分類に付与できること。	必須		
44	カテゴリ分類	カテゴリ分類は大→中→小カテゴリといった一方通行的なものだけでなく、必要に応じて、逆引きもできるような設定可能であること。(たとえば、「住宅→申請」といった流れだけでなく、「申請→住宅」といった流れも自動で実現できること)	推奨		
45	サブサイト	サイト全体の階層構造とは異なる独自のメニュー構造(階層構造)を持ったまとまりを、サブサイトとして管理できること。独自のメニュー構造は、カテゴリ分類とは独立して存在すること。	推奨		
46	サブサイト	サブサイトは、専用のトップページを有すること。トップページには記事ページのように自由に作成できるエリアが設けられ、各所属の担当者で更新・管理ができること。	推奨		
47	サブサイト	サブサイトは、トップページ他、リストページ、記事ページ等のテンプレートを使用でき、共通した独自のメニューを各所属の担当者で更新・管理ができること。	推奨		
48	サブサイト	サブサイトは、トップページ他、リストページ、記事ページ等のテンプレートを使用でき、共通した独自のヘッダ画像を各所属の担当者で更新・管理ができること。	推奨		
49	サブサイト	サブサイトは、共通した個所にバナー画像の表示やテキストリンクなどが3箇所まで表示でき、各所属の担当者で更新・管理ができること。	推奨		
50	サブサイト	ドメインの異なる複数サイトの管理がライセンスのCMSで行えること。	推奨		
51	サブサイト	サブサイトは、当該サブサイト内でのみ適用するカテゴリの階層構造を有すること。また、そのカテゴリは、所管する所属が自由に追加更新できること。	推奨		
52	サブサイト	サブサイトは、新着情報の表示有無、表示件数の変更、サムネイル表示の有無を管理画面からそれぞれ設定できること。	推奨		
53	サブサイト	サブサイトは、追加の費用が発生すること無く各所属にて管理画面から複数作成できること。	推奨		
54	サブサイト	サブサイト作成者は掲載できる所属を任意で選択でき、複数の所属での共同管理ができること。	推奨		

	カテゴリ	要件	要求区分	対応	備考
55	作成・編集作業	ページ作成者がHTML言語を意識することなく、ウェブアクセシビリティなどの基準に合ったサイトを簡単な操作と文字入力ソフトに近い操作性で作成できること。	必須		
56	作成・編集作業	HTMLの知識がない職員でも、簡単な操作で作成できること。	必須		
57	作成・編集作業	ページ作成時に操作を誤った場合、その操作を1つ以上前の状態に戻せること。	必須		
58	作成・編集作業	編集中のページを一時保存し、再ログイン後に編集を再開できること。	必須		
59	作成・編集作業	公開中のページに影響なく、そのページの編集ができること。	必須		
60	作成・編集作業	自身が管理している公開開始間近のページ(承認済ページ)や公開終了間近のページを一覧で表示できること。	必須		
61	作成・編集作業	他の利用者が同一ページを同時に編集できないこと。	必須		
62	作成・編集作業	ページデザインはスタイルシートで管理され、作成者がデザインを意識することなくページ作成ができること。	必須		
63	作成・編集作業	公開前のコンテンツを公開時と同じ状態でプレビュー表示でき、印刷できること。また、プレビュー画面からリンクをクリックすることでリンク先に遷移できること。	必須		
64	作成・編集作業	作成したページをコピーし、編集するなど、転用が可能であること。	必須		
65	作成・編集作業	上記について、運用開始後も管理者がメンテナンス(追加・変更・削除)できること。	推奨		
66	作成・編集作業	ページ作成時などに以下のチェックがなされ、不備がある場合はその内容がわかりやすく表示されること。またそれを簡単に修正できること。 ・ページタイトルの有無 ・日時などの表記の適否 ・見出し構造の適否 ・画像代替テキスト(ALT属性)の有無	必須		
67	作成・編集作業	テンプレートを利用したページ作成が可能であること。	必須		
68	作成・編集作業	管理可能なテンプレート数が10個以上あること。	推奨		
69	作成・編集作業	画像入力パーツ、添付ファイルパーツ、リンクパーツなど個別にパーツが分かれており、自由に組み合わせることでページ作成できること。	推奨		
70	作成・編集作業	追加したパーツの編集、複製、削除、順番変更ができること。	推奨		
71	作成・編集作業	イベントカレンダーへ掲載したい場合は、ページ作成時に自動反映されること。または容易にイベントカレンダー編集画面に遷移し、編集作業ができること。	推奨		
72	作成・編集作業	ページの非公開が出来ること。(閲覧できないが、削除されずCMS内にファイルが存在する。)	推奨		
73	作成・編集作業	ページ作成時に、スマートフォン、PC向けのプレビューが表示できること。	必須		
74	作成・編集作業	作成中のページ一覧において、承認者により差し戻されたページかどうかを判別できること。	必須		
75	作成・編集作業	Word、Excelデータをコピー&ペーストできること。その際、アプリケーション特有のHTML(CSS)表現を自動的に削除できること。	必須		
76	作成・編集作業	画像、添付ファイルのファイル名が、日本語名などのサーバ上で使用できないものである場合には警告を表示し、スムーズに修正できること。	必須		
77	作成・編集作業	記事ページ編集画面から入力データの失われる可能性がある画面へ遷移する際に、そのままとまるか遷移するか確認メッセージを表示とすること。	必須		
78	作成・編集作業	閲覧者が特定の記事のみをダイレクトに検索できるよう、記事ページごとに固定のIDが自動で付与される機能を有し公開すること。	推奨		
79	作成・編集作業	記事ページごとに固定のQRコードが自動で作成できる機能を有すること。	必須		
80	作成・編集作業	Google検索時に探しやすいタイトルを自動生成できる機能を有すること。	推奨		
81	承認作業	承認状況を、ページ作成者が確認できること。	必須		
82	承認作業	承認者は自身が承認すべきページを一覧で確認できること。	必須		
83	承認作業	上記について、未公開のページなのか、公開済みページの修正なのか判別できること。	必須		
84	承認作業	承認するページの内容確認のため、新規作成ページのプレビューが可能であること(本ページからのリンク先ページも確認ができること)。	必須		
85	CMS内検索機能	検索対象をコンテンツ状態(「作成中」「公開中」「公開予定」等)で検索できること。他の検索条件と組み合わせることで検索できること。	推奨		
86	CMS内検索機能	キーワードにて全文検索できること。他の検索条件と組み合わせることで検索できること。	推奨		
87	CMS内検索機能	ページタイトルを検索対象としてキーワード検索できること。他の検索条件と組み合わせることで検索できること。	推奨		
88	CMS内検索機能	最終更新日の「日付範囲」という条件で検索できること。他の検索条件と組み合わせることで検索できること。 例:3月1日から3月31日までに更新されたページ一覧を表示。	推奨		
89	CMS内検索機能	検索結果一覧には「タイトル」「作成者」「状態(作成中・公開・公開予定など)」「公開期間」「最終更新日」が表示されること。	必須		
90	CMS内検索機能	検索結果一覧では上記項目を選んで、その項目でソートができること。	推奨		
91	サイト内検索	サイト内検索機能を設け、サイト内のコンテンツをキーワードにより検索できること。 (Google検索可。ただし導入後Google検索が有償になる場合は両者協議することとする。)	必須		
92	サイト内検索	サイト内の全文検索ができること。	推奨		
93	サイト内検索	広報誌などに付与された記事IDや記事番号を入力してページを検索できること。	推奨		
94	サイト内検索	サイト内と別サーバで稼働している本町関連ページ内の検索ができること。	必須		
95	サイト内検索	検索結果のページは、サイト内の他のページと同様、同じ体裁のヘッダー、フッターを表示させ、閲覧者には、別のサイトに移動してしまったという印象を与えないようにすること。	必須		
96	画像	簡単な操作でページ内に画像を配置できること。	必須		
97	画像	同一ページ内に複数の画像を配置できること。	必須		
98	画像	管理者が画像のサイズの上限を設定でき、上限を超えた画像は自動的に上限サイズに変更されること。	推奨		
99	画像	画像にリンクを容易につけられること。	必須		
100	画像	CMS内で、作成者が画像のリサイズやトリミングを容易にできること。	必須		
101	添付ファイル	添付ファイルをアップロードできること。	必須		
102	添付ファイル	作成するページにPDF,DOC,DOCX,CSV,XLS,XLSX,HTML,ZIP,JPG,JPEG,PNGが添付できること。	必須		
103	添付ファイル	ファイル添付時、ファイルの種類やサイズが自動で表記されること。	必須		
104	添付ファイル	添付ファイルの容量を統一して制限できること。	必須		
105	添付ファイル	添付ファイルを複数設定した際、並び順を変更できること。	推奨		
106	添付ファイル	添付ファイル(画像など)の変更をしてもURLが変更せず変更前後同様に検索できること。	推奨		
107	リンク	内部リンク、外部リンクが設定できること。	推奨		
108	リンク	ページ内リンク(アンカーリンク)が設定できること。	必須		
109	リンク	内部リンクはアドレス入力やファイル名指定の必要がなく設定できること。	推奨		
110	リンク	ページ内のリンク切れを自動的にチェックできること。リンク切れがある場合、どこに問題があるかを表示できること。	推奨		
111	リンク	ページを削除する際に他のページからリンクが設定されていないかチェックを行い、リンクが貼られていた場合は警告表示と該当ページ一覧を表示できること。	推奨		
112	リンク	削除対象のページにリンクしているページを一覧表示することができること。	推奨		
113	リンク	外部へリンクされる場合、(外部リンク)などの文言が自動的に設定されること。	推奨		
114	動画	Youtubeの動画を埋め込み式でページ内に掲載できること。	必須		
115	地図	ページ内にGoogleMapsなどの地図情報を埋め込み、簡単な操作で所在地などが表示できること。	必須		
116	地図	地図に複数のポイントを設定できること。	推奨		
117	地図	地図の縮尺や表示サイズ変更、中心座標の移動が容易に行えること。また、ポイントマークの位置を容易に移動できること。	推奨		

	カテゴリ	要件	要求区分	対応	備考
118	アクセシビリティ	日本産業規格「JIS X8341-3:2016」達成等級AAに配慮したコンテンツ作成をすることができること。	必須		
119	アクセシビリティ	ページ作成時にアクセシビリティに関するチェックを行うことができ、問題があった際は警告及び箇所の表示ができること。また、同時にどのように修正すべきかを説明する解説を表示できること。	必須		
120	アクセシビリティ	サイト全体がアクセシビリティに配慮した文字の大きさ、配色で掲載できること。	必須		
121	アクセシビリティ	ページの閲覧者が任意に文字の大きさや表示の拡大・縮小、背景色の選択ができること。	推奨		
122	アクセシビリティ	アクセシビリティ支援ソフトを利用する閲覧者に配慮したソース構造とすること。	必須		
123	アクセシビリティ	見出しの構造化チェックが行えること(例:見出し1の有無、見出し1、見出し2などの階層構造)。	必須		
124	アクセシビリティ	使用が好ましくない単語が含まれている場合、サイト管理者が指定する単語に自動変換する機能があること(例:「子供」→「子ども」)。変換対象とする単語は、サイト管理者が任意で登録することができ、登録可能な単語数に制限がないこと。	必須		
125	問い合わせフォーム	問い合わせフォームから問い合わせがあった際、そのページを管理している部署にメールで通知できること。	必須		
126	問い合わせフォーム	問い合わせフォームで、入力内容に不備があった際、入力者に対して不備の理由をテキストで表示できること。	必須		
127	問い合わせフォーム	入力者が問い合わせを送信する前に容易に内容確認できること。	必須		
128	問い合わせフォーム	入力者が問い合わせを送信した際、担当部署へのメール送信が完了したときに受付(確認)メールが送信されること。	推奨		
129	RSS	カテゴリごとの新着情報をRSSフォーマットで出力できること。	必須		
130	イベントカレンダー	カレンダー形式の表を自動生成し、イベント情報などを掲載できること。	必須		
131	イベントカレンダー	カレンダーは月単位で表示できること。	必須		
132	イベントカレンダー	イベント情報をカテゴリ分けし、カテゴリごとのカレンダーを表示できること。	推奨		
133	イベントカレンダー	イベント情報を開催日、カテゴリなどで検索できること。	推奨		
134	イベントカレンダー	日付や開催場所で情報を検索できること。	推奨		
135	アクセス解析	各ページ及び総数についてページビュー数・ユーザー数・トラフィック数・参照元等が解析可能であること。	推奨		
136	アクセス解析	上記でカウントしたものを時間・日・週・月・年ごとにカウント可能であること。	推奨		
137	アクセス解析	CSVファイル等で出力可能であること。	推奨		
138	アクセス解析	バナー広告のクリック数をカウントできること。	推奨		
139	アクセス解析	集計結果を数値およびグラフで表示できること。	推奨		
140	運用・保守	運用サポート、システム保守の内容・体制は十分か。	必須		
141	運用・保守	セキュリティ対応やパッチ適用などへの対応は万全であること。	必須		

上記要件をすべて満たすCMSであることを保証します。

令和 年 月 日

企業名  
代表者名